

ロダン美術館（パリ）所蔵写真による画像データベースのための静岡県立美術館に おけるシステム

越智裕二郎

spmoa@ppp.bekkoame.or.jp
静岡県立美術館 主任学芸員
〒422 静岡市谷田53-2

ロダンは写真を制作に活用したほとんど最初の芸術家であり、7000枚という数の写真をロダン美術館（パリ）に残している。ロダン研究にとってその写真資料の重要性は認識されていながら、その資料の脆弱性により十分活用されてこなかった憾みがあるが、ロダン美術館（パリ）がフォト-CD システムを採用、上記の写真をCD化するにあたり、ロダン・ウイング（ロダン館）を1986年に新設した静岡県立美術館では、そのをCDを購入、ハイビジョン・モニターとタッチパネルを使用した画像データベースと番組のシステムを来館者に公開、また一方で学芸課内に学芸員が個人でも構築できるマック8100と日本DEC, DBnet9000, ピクトグラフィなどを Ethernet 結んだ汎用の画像データベースシステム設置した。本論はその紹介である。

Image-Database of the 7,000 pieces photograph, belong to Musee Rodin (Paris),
in the Shizuoka Prefectural Museum of Art.

Yujiro Ochi

spmoa@ppp.bekkoame.or.jp
Shizuoka Prefectural Museum of Art
Yada 53-2, Shizuoka City, Japan 422

Rodin was born 4years later than the birth of Daguerrotype. He recognized the importance of photograph, and applied it in process of making works often. The Musee Rodin (Paris) has made Photo-CD for this 7,000 pieces of photograph now, and the Shizuoka Prefectural Museum of Art, that founded Rodin Wing in spring 1986, purchased that Photo-CD and has just opened to the public for the image-Database of Rodin's photograph. In this paper, I'd like to introduce this system.

1 目的

ダゲレオ・タイプ写真が生まれたのは1839年、その翌年に生まれたロダンはその写真を積極的に使った芸術家の一人である。身のまわりのスナップから、自身の作品の記録、さらに制作を推し進めるために研究用に撮らせたもの（彼の筆による書込みのあるものもある）など7000枚もの写真がロダン美術館（パリ）に残されている。その重要性は研究者も認識していながら、しかし資料の脆弱性のためにその閲覧は限られざるを得ず、今まで十分活用されてきたとは言いがたい。

近年 Photo-CD の普及にともない、ロダン美術館もその写真群にそのフォト-CD 化システムを導入することが決定され、1994、95の2年間でそれが行われることになった。そしてあわせその成果品のCD の購入を、ロダン・ウイングを建設しそれら写真群に高い興味を示していた当館に許可した。

それに伴い、当館では研究者に対しては勿論、一般来館者に対してもこれらの写真画像に親しく見られるようなシステムの設置を考え、下記概要のとおり仕様書を作成、来館者用一般公開システムと学芸課内システムを分けて、コンペ入札とした。

2 ロダン美術館所蔵写真フォトCD画像ファイル検索システム 仕様書（抄）

(1) 来館者用ブース内、ハイビジョンモニターを使ったシステム

ロダン美術館より提供される7,000枚の写真画像をデータベース化し、来館者に情報提供するシステム。

来館者への操作性を考慮し、制御用のコンピュータのモニターに表示される複数の画像情報を閲覧しながらタッチパネルでの条件検索や、複数画像の一覧表示による選択での結果から、ハイビジョンモニターに画像表示、閲覧できるシステムである。また予め用意したテーマに基づいて来館者に情報を提供するために、写真画像をシナリオに沿って順次自動表示する番組再生機能も備える。

登録される画像データは(財)ハイビジョン普及支援センターの制定する「展示型ハイビジョン静止画ディスクシステムの技術ライン」に準拠可能なシステムとし、画像データの互換性を維持するものとする。

・ハードウェア要件

ア. 制御用コンピュータ 2式

CPU Pentium 90MHz以上 またはPowerPC601/80MHz以上、またはMicroSPARC, 同等品

CRT 17インチ以上

メモリー 16MB以上

ハードディスク 内蔵525MB以上

その他 MS-Windows及びDOS、または機種にあわせMac OS(漢字Talk7)、SolalisのOSが動作するもの/タッチパネル制御及びハイビジョン出力制御装置がコントロールできること

イ. ハイビジョン出力制御装置

解像度 1035×1920画素 相当

画像圧縮伸張 JPEG方式の圧縮、伸張が行えること

出力信号 ハイビジョン信号に対応

その他 制御用コンピュータによる表示、画像処理等コントロールができること

ウ. 画像データ蓄積装置

記憶容量 4GBバイト以上

エ. ハイビジョン表示装置

モニターサイズ 32型以上HDTV方式、およびNTSC方式に対応していること

入力系統 ハイビジョン入力 2系統以上

走査周波数 1125×525 Line (SW 切り換え)

その他 ハイビジョンフルサイズ(1035×1920画素)の表示の際、画像が欠けることなく表示できる機能(アンダースキャン)または調整機能をもつこと

(以下略)

(2) 画像管理・データベース制作システム

本システムでは、上記の高精細な画像データの入力や編集加工、学芸員向けにカスタマイズされたデータベースとのリンク、日本語データベース構築GUIツールのサポート、等の機能を有するもの。ロダン美術館から提供される画像資料にさらなる研究資料をも付加できるような装置とソフトウェアをもち、研究に必要な機能で、今後予想される技術やハードウェアに対応可能なシステムであることを前提とする。

・ハードウェア要件

ア. 制御用コンピュータ 2式

CPU Pentium 90MHz以上 またはPowerPC601/80MHz以上、またはMicroSPARC, 同等品

CRT 17インチ以上

メモリー 16MB以上

ハードディスク 内蔵500MB以上

CD-ROM 内蔵/マルチセッション対応、もしくは外付け6連装

ネットワーク Ethernet またはApple Talkを搭載していること

その他 MS-Windows及びDOS、または機種にあわせMac OS(漢字Talk7), SolalisのOSが動作すること

イ. 画像制作用処理装置 1式

表示 1035×1920画素 相当

メモリー 2048×2048画素 以上が望ましい

画像圧縮伸張 JPEG方式の圧縮、伸張が行えること。市販のアプリケーションソフトとのデータ互換があること

出力信号 ハイビジョン信号/64KHz/NTSC信号の3タイプに対応

その他 制御用コンピュータによる表示、画像処理等コントロールができること/高速に画像処理できる機能を搭載してい

ること

ウ. ハイビジョン表示装置

モニターサイズ 20型以上

入力系統 ハイビジョン入力 1系統以上

走査周波数 1125×525 Line (SW切り換え)

その他 ハイビジョンフルサイズ(1035×1920画素)の表示の際、画像が欠けることなく表示できる機能(アンダースキャン)または調整機能をもつこと

エ. カラープリンタ装置 1式

プリント方式 レーザー露光熱現像転写方式

解像度 113, 200, 267, 320, 400dpi (最大3800×2759画素、フレームメモリー30MB)

フォント 欧文39書体、日本語

オ. 書体

言語仕様 PostScript Level 2

インターフェース Ethernet, SCSI

その他

イメージスキャナ(800dpi以上、透過原稿入力可)、画像データ記憶装置(4GB以上)、通信制御装置(14,400bps以上、fax機能内蔵)、ネットワーク接続装置、テキスト用プリンター(以下略)

3) ソフトウェア要件

ア) 来館者用ブー内、ハイビジョンモニターを使ったシステム

ア. 3項目以上の階層型分類検索により、最終項目の選択後約2秒以内該当する画像が、にハイビジョン表示装置に表示できること。

イ. 該当項目の検索に関し、コンピュータモニターに付随するタッチパネル装置で容易に検索できること。

ウ. 検索結果は、ハイビジョン装置もしくはパソコンモニター上で縮小画面の一覧表示(12あるい

は16コマ程度)と、文字情報の一覧の表示後、ハイビジョン表示装置に関連画像の一覧または前面に表示する方法が指定できること。

エ. 各種画面の切換え時の特殊効果、文字、テロップ、音声などを利用してストーリー性のあるロダンに関する数分程度の番組を再生できること。

オ. 提供する静止画像7000枚以上および6番組程度の格納できる記憶容量を備えていること。なお納入時は2600件程度のデータコンパート、1タイトル以上の番組を納品するものとする。

カ. 格納される画像データの記憶容量を増設できるように設計されていること。

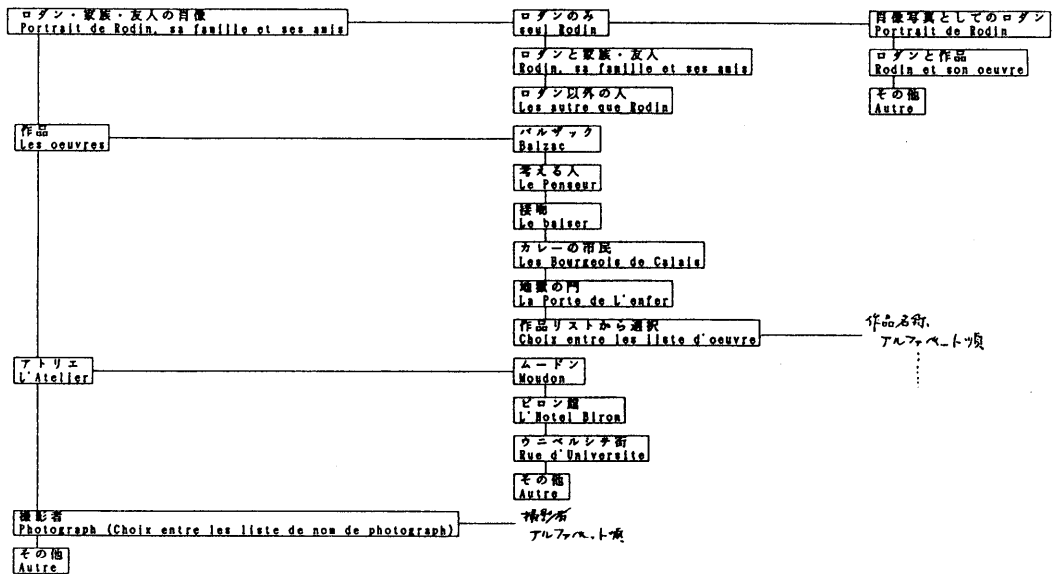
キ. 将来にわたる利用を目的としてパソコンからワークステーションまで幅広い制御コンピュータに対応できるハードウェア構成であること。

(以下略)

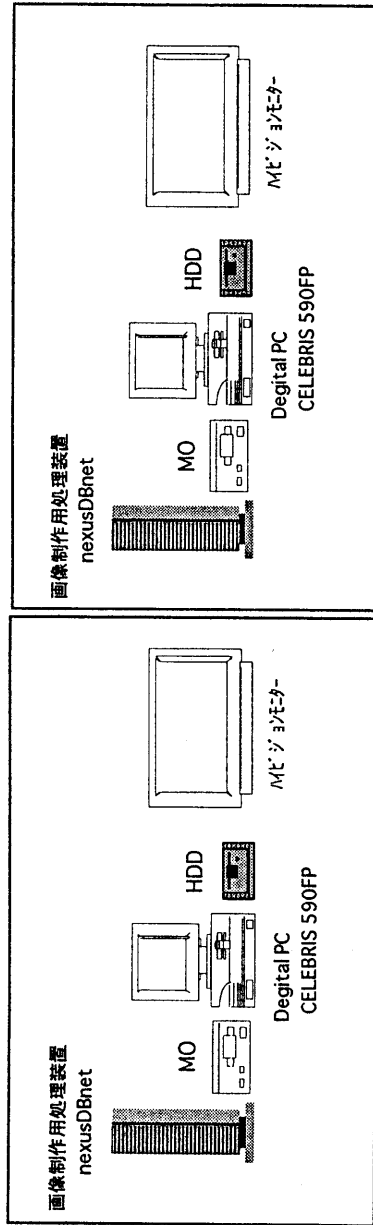
3 システムの導入

上記の仕様に基づきコンペ入札に応じたのは5社、内ワークステーションで持って応じた会社とパソコンを主体に応じた2社に絞られ、ワークステーションでは保守の点で静岡県立美術館では難しいこと、残る2社の内、画像への特化の点を買われてn社となった。以下表1、表2のシステムは上記の仕様に基づきn社との協議の中で構築されたものである。詳細は紙面の関係から28回研究会の口頭発表に譲り、ここでは画像検索画面のメニューを掲載しておきたい。

画像検索メニュー



表イ
来館者システム



特徴:
 ロダン美術館から送られてきた700枚の画像を4GBのハードディスクに格納されています。
 作者名、作品名などからのデータベース検索や、テーマに基いた番組をみることが出来ます。
 なお、番組は光磁気ディスク盤単位で再生を行っています。

学芸課／画像制作システム

